

■ 山北地区における現状と課題の整理（行政施策別）

No.	行政の施策	まちづくり協議会で検討した現状と課題の整理	地域審議会の地域活性化に関する意見・提案
1	保健・医療・福祉の充実	①子どもの虫歯罹患率は村上市内でも高い ②自殺する人の割合が県内でも高い ③検診の受診率が低い（国保） ④ボランティア活動はたくさん行われているが、認知されていない ⑤生活習慣病が増加している ⑥一人ひとりの健康づくりへの関心が薄い	
2	高齢者・障がい者・子育て・生活支援	①少子高齢化が著しい ②出生が少ないにも関わらず、子育てに不安を抱えている親が多い ③個人情報等の問題により、災害時要援護者名簿が活用できない ④戸外で元気に遊ぶ子どもが少なくなった ⑤男性高齢者の交流の場が少ない ⑥認知症や障害者の病に対する理解が不足している ⑦医療機関や買い物の足の確保に困っている人が多い ⑧除雪や雪下ろしに困っている人が多い ⑨高齢者や障害者の雇用の場が少ない ⑩高齢者や障がい者と交流する機会が少ない	
3	防犯・交通安全対策	①高齢者の振り込め詐欺被害が発生している ②交通事故防止には、運転の際にカーブミラー等に頼るばかりではなく、目視が大切である ③高齢者の交通事故が多い	
4	生活環境・衛生の充実	①不法投棄がある ②行政の除草作業は予算に限りがあり十分対応できていない ③ゴミの減量化への取り組みとしてリサイクルの推進が必要	
5	自然環境の保全	①河川や道路沿線への植栽により市民が親しむ環境をつくり、より自然環境を身近に感じる生活環境を作ることが必要だが、施設管理との兼ね合いができるのか ②未舗装道路や水路等の保全など、維持管理になかなか手が回らない ③海岸線への漂着ごみの処理に苦慮している	
6	産業基盤・生活環境（上・下水道等）基盤の	①高速道路の早期着工	
7	産業の振興	①担い手の減少から耕作放棄地、荒れ山が増加している ②農林水産物の価格低迷と生産コストの増加による生産者の意欲が減退している ③小規模農家への営農指導等が必要 ④新たな地域特産品の開発が必要 ⑤観光入込み客の減少 ⑥少量の生産物（個人生産）を取りまとめるシステムがない ⑦特産品が山北ブランドとして確立されていない ⑧猿対策が高齢者の生きがい対策となる。高齢者へ猿対策の補助のわかりやすい説明を行うべき ⑨人口減少による第一次産業の後継者不足	山北は海も山もあるのになぜ直売所などをやらないのと言われ、企画、立案、実行できる人が少なく、中心になってまとめていく人が少ないと思いました。そのため、人材育成が重要になってくると思います。そして、山北には小規模な産物はたくさんあるのに、それを使っていない、PRしていない現状があるので、それらを上手くまとめて販売、PRしていくことが必要。
8	雇用の促進	①立地条件などから企業誘致が困難な状況にある ②地域産物を活かした起業・働く場の創出が必要 ③若者の就職できる企業が少ない ④インターネット等を利用した企業活動の促進	
9	学校教育の充実	①いじめはない ②先生方を対象とした山北めぐりを実施されていない	

■ 山北地区における現状と課題の整理（行政施策別）

No.	行政の施策	まちづくり協議会で検討した現状と課題の整理	地域審議会の地域活性化に関する意見・提案
10	生涯学習・スポーツの充実、文化・芸術の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>①集落公民館等の役員のなり手がいない</li> <li>②集落公民館の活動を停止している集落がある</li> <li>③一般成人を対象とした事業がない、できにくい（仕事があるため、計画しても集まらない）</li> <li>④民俗資料などを保管・管理する施設がない</li> <li>⑤伝統芸能等の後継者がいなくなっている</li> <li>⑥盆踊りの唄を歌える人がいなくなっている</li> <li>⑦民俗資料などを鑑定できる人がいない</li> <li>⑧集落公民館活動の大勢は、積極・消極の二極化傾向に</li> <li>⑩集落における公民館（活動）の位置付けに差異</li> <li>⑪集落公民館事業のマンネリ化、縮小化傾向</li> <li>⑫山北地区公民館の施設（さんぽく会館）と機能（山北総合体育館）の分離体制</li> <li>⑬山北総合運動公園施設の老朽化（総合体育館雨漏り、屋外施設の雑草対策など）</li> <li>⑭成人のスポーツ人口の減少</li> <li>⑮スポーツ少年団活動は活発だが、今後子どもの減少で種目によっては継続困難に</li> <li>⑯現在のスポーツ組織を統合、調整した「新たなスポーツ推進組織」の設立が求められている</li> <li>⑰文化活動愛好者の高齢化、減少傾向</li> <li>⑱文芸誌（文芸「むらかみ」）山北地区内投稿者の減少</li> </ul>	<p>生の音楽を聴く機会を（例えば、茅葺屋根の家屋で、地域外の演奏家による音楽会、交流会）</p>
11	防災・防火対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>①集落自主防災組織の組織率が低い（組織率37%）組織結成による役員等のなり手不足の懸念、危機意識が薄い</li> <li>②消防団員の確保が困難になってきている</li> <li>③災害に対する危機意識が薄い</li> <li>④防災訓練が実践に即していない</li> <li>⑤災害時の避難場所の周知不足</li> <li>⑥災害時の避難施設が老朽化している</li> <li>⑦津波ハザードマップの作成が必要</li> <li>⑧消防職員から消防団員以外に消防器具の操作方法を指導してもらいたい</li> <li>⑨消防職員の人員確保に努力してほしい</li> <li>⑩自主防災組織を強固にすることがこれからの防災に必要（有事の際に積載車等で水を出せる権限を持つことなど）</li> <li>⑪市としての危機管理の具体的な対策を示してほしい</li> </ul>	
12	交流と定住の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>①空き家が多くあるにも関わらず活用できない（所有者承諾が得られない等の理由）</li> <li>②定住希望者に紹介できる空き家がない</li> <li>③交流人口を増やすためのイベントが少ない</li> <li>④生活環境の不便さが人口流出へつながっている</li> </ul>	<p>若者が集い交流できる機会を設けることが必要 ⇒ 成婚⇒ 出産⇒ 人口増</p>
13	地域づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>①魅力ある集落づくり事業はマンネリ化している</li> <li>②集落の事業が多すぎる</li> <li>③人口減少により集落活動の維持が困難な集落もでてくる</li> <li>④お金だけでなく、マンパワーの支援を求めているところもある</li> <li>⑤地域づくりの支援制度が十分周知されていない</li> <li>⑥人材育成のための研修機会が少ない</li> <li>⑦地域づくりのリーダーとなる人材のネットワークがない</li> <li>⑧地域づくりへ若い年代、女性の参画が少ない</li> <li>⑨コミュニティービジネスでの雇用確保は難しいため、地域産物を活かした起業が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①山北地区の問題点を挙げて、その必要とする施策を考える</li> <li>②まち協と連携して、国・県の補助を併用しての住民のバックアップを行う体制づくりを</li> <li>③住民が不便に感じていることを拾い出すことが先決</li> <li>④山北には祭りらしい祭りがなく、子どもたちがワクワクできなくなっています。昔はお盆や正月にそういう催しがあり、楽しみにしていた記憶があります。集落では、今は人口減少などでできなくなっているため、山北地区で何か一つできないか。</li> <li>⑤行政主導の事業ということなので、各課協力のもと事業を実施していただきたい。</li> <li>⑥職員のみなさんには共通の意識のもと、山北地区には何が必要かという議論から始めてもらいたい。</li> </ul>
14	公共交通の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>①路線バス・JRの利用者が少ない</li> <li>②JR、路線バス等の公共交通空白地帯がある</li> <li>③対象者を限定した送迎等（学校、病院等）のバス運行が行われている</li> <li>④道路運送法等の制約から、民間等の事業展開が困難な状況にある</li> <li>⑤バスの小型化が必要</li> </ul>	<p>山北地区の公共交通のあり方や方向性の決定が投げかけられている</p>
15	行政運営等に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>①スムーズな行政運営のため、支所に一定規模の権限の付与が必要</li> <li>②画一の職員配置により地域特性を活かした施策の展開が困難</li> <li>③百姓やってみ隊の猿害対策は市の財政で行うべき。移住・定住を進める施策に猿害ばかりでは参加者減少、イメージダウンに繋がる</li> <li>④支所独自の予算枠を創設し、支所長決済で住民ニーズに素早く対応できる体制を整備するべき</li> </ul>	